



平成20年3月期 第1四半期 平成19年4月1日から平成19年6月30日まで

Web版 株主通信

目次

- 1 事業の概況
- 3 連結財務レポート
- 5 TOPICS
- 7 株主コミュニケーション

第1四半期の取り組み(平成19年4月～6月)

< 経営施策の取り組み >

当社の競争優位性を確保し、企業や社会の発展に不可欠な戦略的IT投資需要に応えていくため、当社は『変革の先進企業』を目指して、「量(売上)から質(仕事のやり方、価値創造ビジネス)への転換」を図り「お客様満足度No.1の追求」に全力を挙げて取り組んでまいります。

この実現に向けた中期経営の主な施策として、「営業の変革」、「開発プロセスの変革」、「グループ経営の効率的な推進」、「低採算ビジネスの見直し」、「成長エンジン」、「人財育成」を中心に実施し、事業の発展及び当社グループの企業価値拡大に向け取り組んでまいります。

主な取り組みとして、組織機構改革を行いました。

「営業企画室」を「営業企画部」に改組

全社的な営業力強化施策の実行ならびに営業プロセスの標準化を推進いたします。

「グループ経営企画本部」の設置

「グループ事業推進部」と「国際事業推進本部」を「経営企画部」に統合し、グループ経営の強化、国際事業展開の更なる推進を図り、グループシナジーの発揮による経営の質的向上を追求いたします。

「ヘルスケアシステム事業本部」の設置

将来的な成長が見込まれるヘルスケア事業領域のビジネス強化と社会基盤構築への貢献を果たします。

< 事業活動の取り組み >

NTTデータジェトロニクスの発足

Getronics N.V.の日本法人であるジェトロニクス(株)の経営権を譲り受け、NTTデータジェトロニクス(株)を発足いたしました。これにより、同社の国際的な銀行間の資金決済ネットワーク「SWIFT」^(注)などの決済ソリューションノウハウと当社のシステム構築ノウハウや顧客層を活かして、広範囲なお客様へサービスを提供してまいります。

(注)SWIFT(Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication)

世界各国の金融機関にインタフェース・ソフトを供給している国際銀行間通信協会及び協会が提供する国際銀行間決済・データ通信システムの名称です。

官庁会計システム用機器等の賃貸借等を受注

財務省における官庁会計システム用機器等の賃貸借及び電算機室等の賃貸借を受注いたしました。

NTTデータグループのグローバル事業を推進する拠点展開として NTT DATA Asia Company Limitedを設立

アジアでの事業展開を推進する目的でNTT DATA Asia Company Limitedをタイに設立いたしました。ITシステム導入・定着支援、保守・運用サポートを行う同社を通じて、アジア地域でのサポート力及び価格競争力を強化するとともに、各国のNTTグループ現地法人と連携して通信インフラからアプリケーションまで幅広く、質の高いITサービスを提供してまいります。

ゆうちょ銀行の新たなシステム(融資業務、外貨預金業務)を受注

民営化されるゆうちょ銀行について、新たなシステム(融資業務、外貨預金業務)を受注いたしました。

NTTデータイントラマートが東証マザーズ市場に上場

当社の子会社である(株)NTTデータイントラマートが平成19年6月7日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしました。

秋田銀行がNTTデータ地銀共同センターに参加を決定

金融機関向けの共同利用型システムである「地銀共同センター」に(株)秋田銀行が参加することが決定し、参加予定銀行数は12行となりました。また既にBeSTAの採用を決定している(株)横浜銀行、(株)ほくほくフィナンシャルグループ子会社の(株)北陸銀行、(株)北海道銀行を含めるとBeSTAの利用予定銀行数は15行になります。

(注)BeSTAは、株式会社NTTデータの登録商標です。BeSTA(Banking application engine for STandard Architecture:ベスタ)は、ベンダを特定しないNTTデータの先進バンキングアプリケーションです。

損益計算書と受注の概要

科 目	(単位:億円)		
	平成19年3月期 (平成18年度) 第1四半期	平成20年3月期 (平成19年度) 第1四半期	平成19年3月期 (平成18年度) 通期
売 上 高	2,041	2,181	10,449
売 上 原 価	1,472	1,594	7,863
売 上 総 利 益	569	587	2,585
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	405	386	1,683
営 業 利 益	163	200	902
営 業 外 損 益	2	6	44
経 常 利 益	165	206	857
純 利 益	110	118	506
受 注 高	3,745	4,054	9,679

売上高は、金融分野のアウトソーシングサービスや共同利用型システムの売上増、及びテレコム・製造・流通業界向けシステムの売上増などにより増加しました。

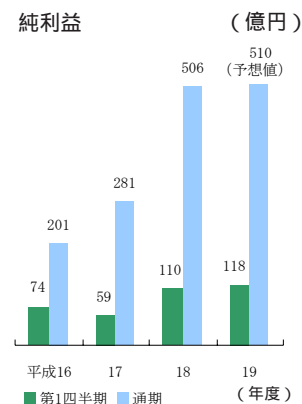
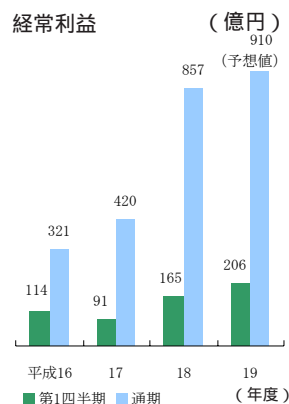
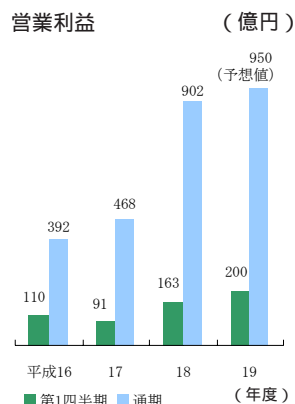
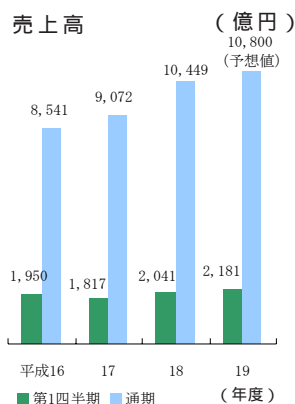
売上総利益は、原価率は若干増加したものの、増収に伴い増加しました。

販売費及び一般管理費は、社内システム費の減などにより減少しました。

純利益は、IT投資促進税制の前年度終了に伴う税負担増により微増となりました。

受注高は、公共分野及び法人分野は若干減少しているものの、金融分野の受注拡大に伴い増加しました。

3



設備投資とキャッシュ・フローおよび貸借対照表の概要

(単位:億円)

科 目	平成19年3月期 (平成18年度) 第1四半期	平成20年3月期 (平成19年度) 第1四半期	平成19年3月期 (平成18年度) 通期
設 備 投 資	219	290	1,395
営業活動によるキャッシュ・フロー	621	608	2,149
投資活動によるキャッシュ・フロー	280	403	1,316
フリー・キャッシュ・フロー	340	204	833
財務活動によるキャッシュ・フロー	207	549	574
総 資 産	10,076	10,235	10,873
有 利 子 負 債	2,551	1,982	2,463
株 主 資 本 等	5,022	5,390	5,349

設備投資は、公共分野や金融機関向けのデータ通信設備の投資増などにより増加しました。

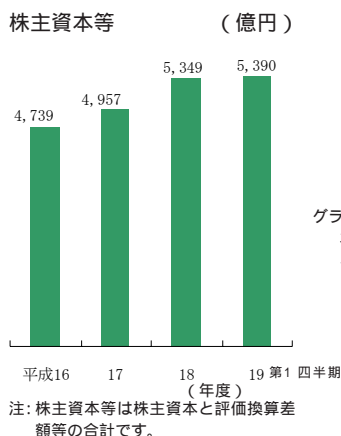
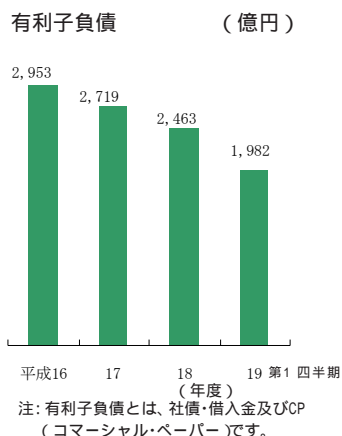
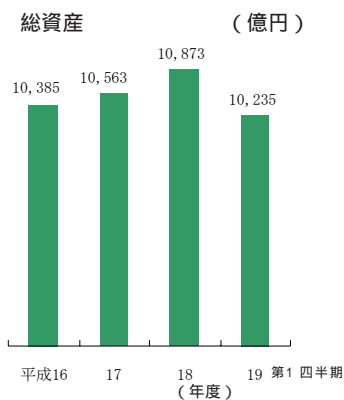
フリー・キャッシュ・フローは、設備投資の増に伴い投資活動によるキャッシュ・フローが支出増となったことなどにより、減少しました。

総資産は、売掛金の回収などにより前年度末に比べて減少しました。

有利子負債は、社債の償還などにより前年度末に比べて減少しました。

株主資本等は、純利益などにより前年度末に比べて増加しました。

4



グラフ注:
平成16年度から18年度は通期を、
平成19年度は第1四半期を表します。

TOPICS

日本初!携帯アプリを利用した 「ワンタイムパスワード」サービスを インターネットバンキングに採用

現在、約80金融機関にご利用いただいている個人向けインターネットバンキングサービス「ANSER-WEB(アカウントアクセス)」にてスパイウェア^{*1}等による不正取引を防止するセキュリティ強化策として、携帯電話のアプリケーションを利用した「ワンタイムパスワード」サービスを平成19年5月から提供しています。

5

背景

近年インターネットバンキングサービスの利用が増加している一方で、インターネットバンキングを利用するためのIDとパスワードなどの認証情報をフィッシング^{*2}、スパイウェアといった手口により不正に取得し、正当な利用者になりすまして預金を引き出すという事件が発生しており、金融機関ではこれらの不正行為への対策が急務となっています。

サービス概要

これまでのワンタイムパスワードによる認証方式では、パスワードを発生させるための専用ハードウェアを用意し、利用者に送付する必要がありました。このため、すぐに使い始めることができない、常に持ち歩く必要があり不便といった問題点がありました。

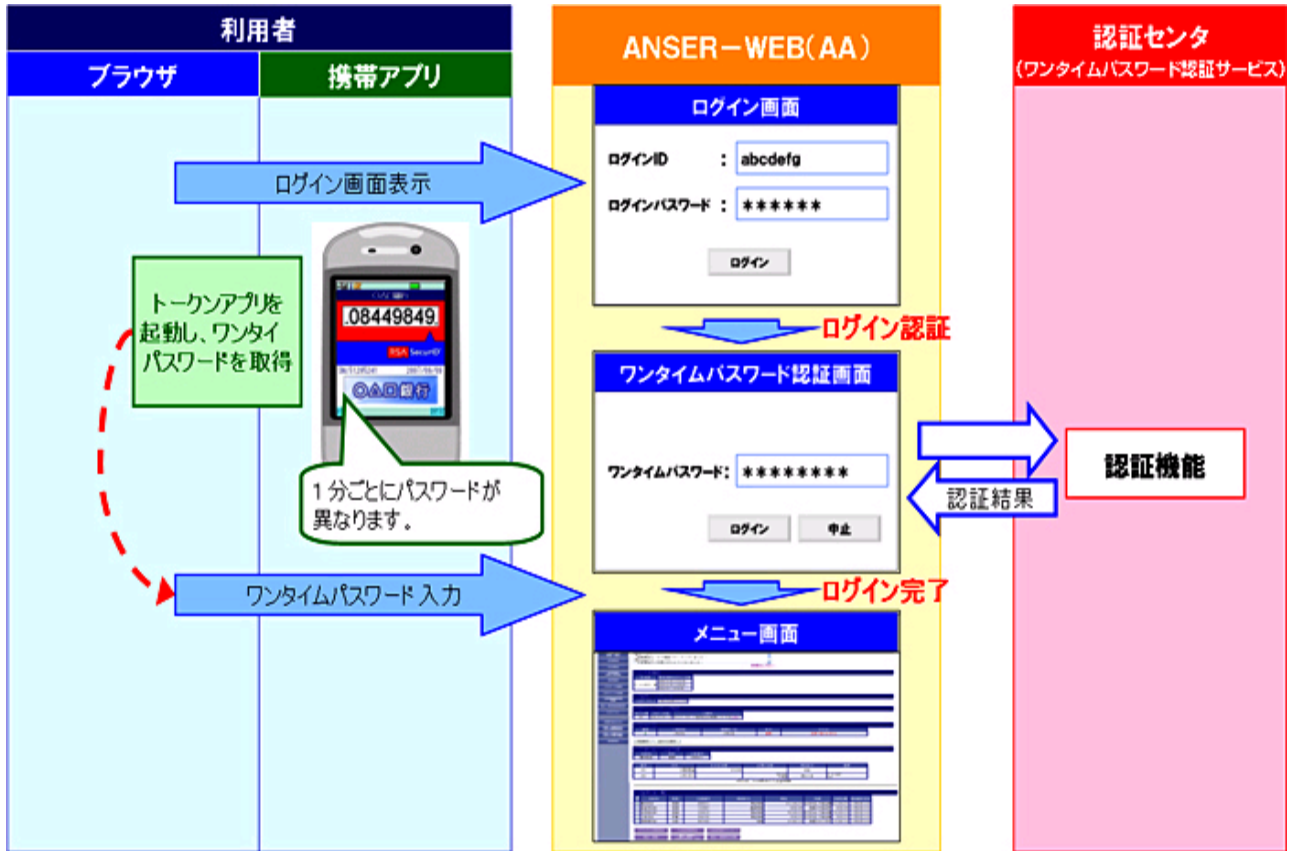
そこで、携帯電話にパスワード発生用の専用ソフトをダウンロードすることでワンタイムパスワードが利用可能になる方式を新たに採用しました。これにより利用者は、専用ハードウェアを持ち歩く必要がなくなり、また金融機関は、専用ハードウェアを利用者に送付する負担はなくなります。

導入金融機関

岩手銀行、京都銀行、紀陽銀行(インターネット支店)、関西アーバン銀行、京都信用金庫
今後3年間で約30金融機関の導入を見込んでいます。

*1スパイウェア パソコン内で動作し、ユーザの行動や個人情報収集したりすることができるソフトウェアのことです。本機能を悪用し、インターネットバンキングサイトなどで入力したIDやパスワードを利用者が気づかないようにソフトの作成者に送信させて搾取してしまう不正行為が発生しています。

*2フィッシング 金融機関などからの正規のメールやWebサイトを装い、偽者のWebサイトに認証情報を入力するように誘導して、サービスにログインするために必要なIDやパスワードを搾取する不正行為です。



(利用の流れ)

インターネットバンキングを利用する場合、以下のようになります。

(準備)まず利用者は、携帯電話にワンタイムパスワード発生用の専用ソフトをダウンロードします。

従来から利用しているIDとパスワードを入力します。

携帯アプリに表示されているワンタイムパスワードを入力することにより本人認証を実施します。このワンタイムパスワードは利用者ごとのパスワードであり、また1分おきに新たなパスワードが生成されます。この機能により、万が一パスワード情報が不正行為などにより漏洩した場合でも、不正利用はできなくなります。

NTTデータでは、株主のみなさまとの相互理解を促進するため、コミュニケーションを大切にしたいと考えています。

第19回定時株主総会のご報告

平成19年6月22日(金)午前10時より、今年から会場を変更し、初めて当社自社ビルである東京都港区のNTT DATA品川ビル(アレア品川)東京コンファレンスセンター・品川にて、第19回定時株主総会を実施しました。当日は大変多くの株主の皆様にご出席を賜り、誠にありがとうございました。

開会后、監査役の報告を経て、連結業績をナレーションと画像にて説明後、「剰余金の処分の件」、「定款一部変更の件」、「取締役9名選任の件」、「監査役1名選任の件」、「会計監査人選任の件」の5議案が上程され、質疑応答に移りました。ご質問や貴重なご意見を頂いた後、採決に移り、すべての議案が承認、可決され、閉会いたしました。



当社のさまざまな活動や最新ニュースを提供するホームページのご案内

当社のホームページでは、財務情報などの投資関連情報をはじめさまざまな情報を掲載しています。

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

http://www.nttdata.co.jp/corporate/ir/financial_data/1qbsr/index.html

平成19年7月31日に公開した第1四半期の財務・業績の概況をご覧ください。



2008年3月期第1四半期 会社説明会資料

<http://www.nttdata.co.jp/corporate/ir/presentation/index.html>

平成19年7月31日に実施した会社説明会の様子を動画をご覧ください。会社説明会関連資料(PDF形式)と質疑応答模様(HTML形式)もあわせてご覧ください。

新事業展開について

<http://www.nttdata.co.jp/release/index.html>

当社のサービスやシステム、研究開発、イベントに関する最新情報は「ニュースリリース」として掲載しております。

ITをわかりやすく紹介する「ITなるほど委員会」のホームページのご案内

世の中に数え切れないほどあるITについてわかりやすく、楽しく紹介していくことを目的に「ITなるほど委員会」のホームページを作成しました。身近にあるITを様々な角度から紹介していきます。是非ご覧ください。

<http://it.nttdata.co.jp/>

ITなるほど委員会

はじめてのIT
ITシステムができるまで
発見！いろんなIT
ITチャレンジクイズ
もしもITがなかったら
IT質問箱

2007.7.25 pm06:41

ITなるほど委員会

2007.7.20
調査長特選集1冊
「コール利用」で考えるITを掲載。

ITについて知ろう ITを活用しよう ITを楽しもう

はじめてのIT
ITの基本から応用まで丁寧わかりやすく紹介！
スタート

ちよつと気になるITを見つけてみよう
発見！いろんなIT
今回はクルマを利用するソフトウェアの話題。
07/06/29 更新

目次せ！ITクイズ王
ITチャレンジクイズ
LET'S TRY!!

もしもITがなかったら
携帯電話、メール、ATM...
現代社会からITがなくなってしまったら？ 準備中！

新コーナー開発中！
ITに関する様々なコーナーを開発中です。

IT質問箱
「IT」に関する疑問や質問を掲載中！
実際に投稿してみよう！面白い疑問は
回答と一緒にサイトに掲載されます。

配当金の口座振替について

当社では配当金を安全かつ確実にお受け取りいただくために、配当金の銀行または郵政公社による口座振込扱いをおすすめしております。

これはあらかじめ配当金振込指定書をご提出いただき、銀行等の預金口座への振込をご指定いただくと、その口座に直接お振込するものです。

お手続きについては以下の住友信託銀行のフリーダイヤルまでお問い合わせください。

株式事務・お手続きに関するお問い合わせ
住友信託銀行 証券代行部
電話(24時間受付)
0120-176-417(通話料無料)

住友信託銀行 株式に関するお手続きページ

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

商号	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
本社	〒135-6033 東京都江東区豊洲三丁目3番3号 豊洲センタービル 電話:(03)6546-8119(I R室) U R L : http://www.nttdata.co.jp/
設立年月日	1988年(昭和63年)5月23日
資本金	142,520百万円(平成19年3月31日現在)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
株主確定日	
定時株主総会・	3月31日
期末配当	
中間配当	9月30日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国本支店
手数料	
名義書換手数料	無料
新券交付手数料	新たに発行する株券に係る印紙税相当額および消費税相当額
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告(当社ホームページ http://www.nttdata.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
証券コード	9613

お知らせ

住所変更・配当金振込指定書等の用紙を下記の方法で請求できます。

[ご請求できる用紙] 変更届(住所、印鑑、姓名等) 配当金振込指定書、買取請求書、名義書換請求書
郵便物送付先 住友信託銀行株式会社 証券代行部

受付フリーダイヤル 0120-175-417(住所変更など用紙のご請求)
0120-176-417(その他ご照会)

インターネットによるご請求先 <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

* 株券等保管振替制度ご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。

株式事務のお問い合わせは

電話:0120-176-417

住友信託銀行株式会社 証券代行部

NTT
Data



株式会社NTTデータ